

裁判員

3候補者が実名会見

制度反対の「素人審理意味ない」
市民団体と

来年の裁判員候補者

じた。

東京都の会社員男性

通知が届いた3人が20日、東京都内で実名を明らかにして会見し、

(65)は「人は裁かないとの信条を持っており、裁判員は拒否する。

裁判員制度反対を訴えた。弁護士や作家らで

法律の素人が審理しても意味がない」。千葉

つくる市民団体「裁判員制度はいらない！大

県の無職男性(65)は

運動」の呼びかけに応

「裁判官に市民感覚で

仕事してもらえばいい。制度は税金の無駄

遣いで、生きるのに困

っている人のために使うべきだ」と訴えた。

裁判員法は、候補者

になったことを不特定多数に明らかにすることを禁じている(罰則

なし)。

法に反して会見した

理由を東京都の男性は

「制度に反対の人はた

くさんいる。自分がま

ず声を上げようと思っ

た」と話した。

団体事務局長の佐藤

和利弁護士は「候補者

名簿に載った人の反対

の声を伝えることで、

制度廃止につなげた

い」と語った。

【北村和巳】